

教育センターだより

「平成27年度全国学力・学習状況調査」報告書をご活用ください！

平成27年度全国学力・学習状況調査の結果が8月末に公表されました。香川県教育センターでは、その結果を分析した報告書を作成し、各小・中学校等に送付するとともに、Webサイトで、その報告書と活用ツールを掲載しています。自校の結果を分析する際の参考にして、今後の取組の改善に役立ててください。

報告書の作成にあたっては、次の3点を工夫しています。

- ・平成19年度以降のこれまでの調査で明らかになった本県の課題を、経年変化等で示しまとめています。
- ・レーダーチャートを用いて各種データを表示し、特に「児童生徒質問紙」ではカテゴリ別集計により、自校の全体傾向をとらえやすくしています。
- ・次期学習指導要領のキーワードであるアクティブ・ラーニングについて特集ページを設け、「活用ツール」によって自校のアクティブ・ラーニングに関する状況を把握できるようにしています。

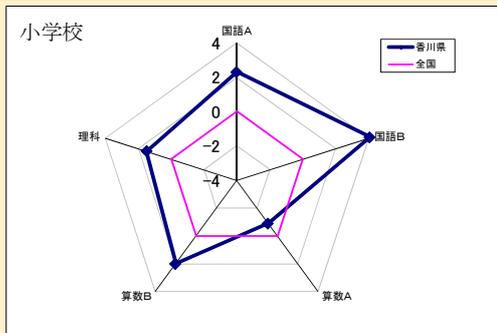
全体的な状況

教科に関する調査結果については、小学校において、国語A、国語B、算数B、理科の4調査区分で全国平均を上回りましたが、算数Aにおいて全国平均を下回りました。中学校において、国語A、理科の調査区分で全国平均を上回りましたが、国語B、数学Bで全国平均を下回りました。

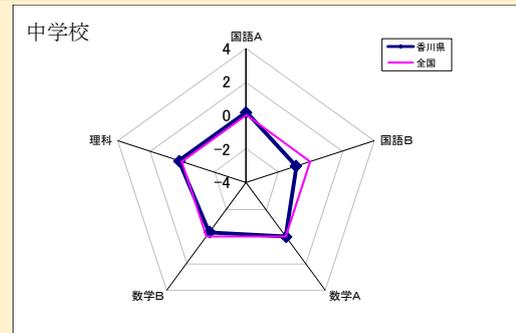
児童生徒質問紙調査結果については、小・中学校ともに「自尊意識等」「学習意欲」「言語活動」に課題が見られました。

教科に関する調査結果

小学校	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
県(公立)平均正答率(%)	72.3	69.5	74.3	47.0	62.3
全国(公立)平均正答率(%)	70.0	65.4	75.2	45.0	60.8
県と全国の差(pt)	2.3	4.1	-0.9	2.0	1.5

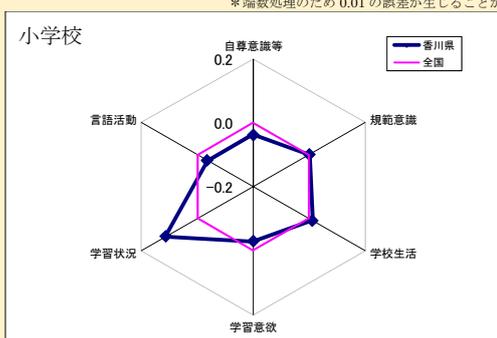


中学校	国語A	国語B	数学A	数学B	理科
県(公立)平均正答率(%)	76.0	64.9	64.4	41.3	53.2
全国(公立)平均正答率(%)	75.8	65.8	64.4	41.6	53.0
県と全国の差(pt)	0.2	-0.9	0.0	-0.3	0.2

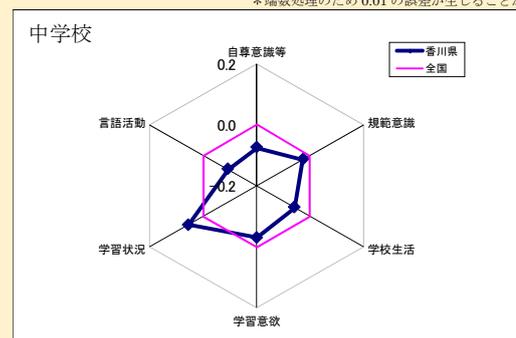


児童生徒質問紙調査結果

小学校	自尊意識等	規範意識	学校生活	学習意欲	学習状況	言語活動
県(公立)得点(点)	3.26	3.59	3.31	3.23	3.46	2.89
全国(公立)得点(点)	3.30	3.59	3.30	3.26	3.34	2.93
県と全国の差(点)	-0.04	0.00	0.01	-0.03	0.11	-0.04



中学校	自尊意識等	規範意識	学校生活	学習意欲	学習状況	言語活動
県(公立)得点(点)	3.02	3.59	3.16	2.91	3.11	2.70
全国(公立)得点(点)	3.10	3.62	3.21	2.94	3.05	2.79
県と全国の差(点)	-0.08	-0.03	-0.06	-0.03	0.06	-0.09



*端数処理のため0.01の誤差が生じることがあります

*端数処理のため0.01の誤差が生じることがあります

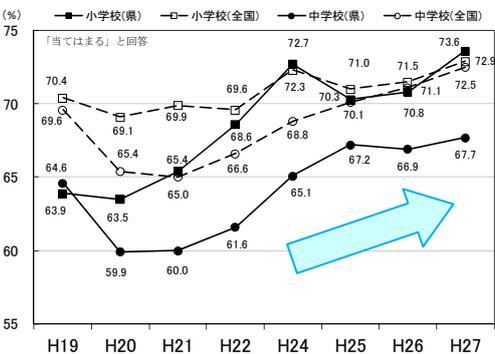
質問紙に注目！！

児童生徒質問紙調査結果では、香川県の特徴的な傾向が見られました。

【成果が見られた質問事項】

「やり遂げてうれしかった」「話し合う活動をよく行った」の質問に対して肯定的に回答している児童生徒の割合が、増加傾向にあります。

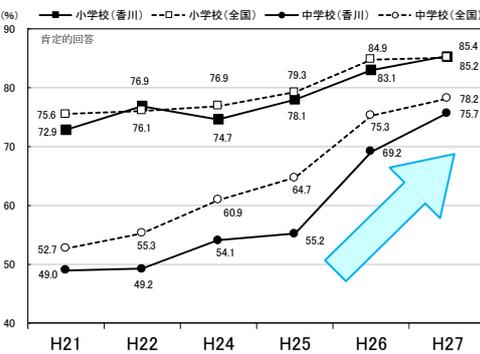
□4 ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか 【児童生徒質問紙】



【課題が見られた質問事項】

「自分にはよいところがある」「発表が得意」「友達の意見を最後まで聞く」に対して肯定的に回答している児童生徒の割合が、全国平均に比べて低い傾向があります。

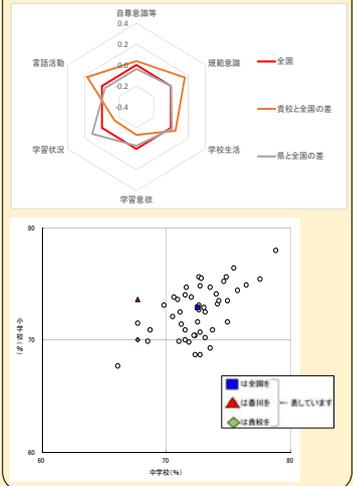
□39 授業では、学級の友達(生徒)との間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか 【児童生徒質問紙】



活用ツールで自校の状況を確認できます！

活用ツールを使うと、全国と香川県の状況に加え、自校の状況を簡単にグラフや表に表示することができます。グラフは目盛の変更も可能です。

【活用ツール表示例】



アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ

Series 2 アクティブ・ラーニングで学習意欲を高めるには？

N先生：子どもが「もっと知りたい」「みんなで解決したい」と能動的に学びたいようになるためにはどのような課題を設定すればいいの？

A先生：子どもが深く考え、自ら解決したくなったり、自然と友達との学び合いが生まれやすくなる…、つまり、「主体的」「協働的」な学習になるような課題を設定することが大切だよ。

N先生：その「主体的」「協働的」の2つの要件を満たす課題を設定すれば、子どもたちの学習意欲は高まるの？

A先生：課題を設定することだけでなく、小集団での学びや学び合う環境づくりが必要だよ。例えば、ペアで学習をしたり、3人以上のグループで学習をしたり…。

N先生：ペアやグループ学習には、それぞれどんな特性があるの？

A先生：ペア学習は、全ての子どもたちが学習に参画し、気軽に話し合いができるよね。グループ学習では、より多くの意見を聞き、判断したり新しい考えを導き出したりすることが期待できるよ。

N先生：ペアやグループで学習するときは、机の配置を工夫すると友達の顔がよく見え、より話しやすくなるね。

A先生：そうだね。全体であればコの字型、小集団であれば机を向かい合わせ…、授業展開に合わせてアレンジしてみるといいよ。

N先生：次の授業では、子どもたちの学びがより能動的になるような授業展開を計画してみるよ。

A先生：N先生、アクティブ・ラーニングが機能すれば、自分の存在感や共感的な人間関係も育まれ、さらなる学習意欲の向上につながると思うよ。

(つづく)



Leaf.2「アクティブ・ラーニング ノ ススメ in かがわ」を10月に配布しました。合わせてご覧ください。

香川県教育センター研究発表会

- ◆日時：平成28年2月19日(金) 12:30~16:25
- ◆場所：香川県教育センター

(参加申込)
12月上旬、教育センターWebサイトに参加申込の方法などを掲載します。

研究発表 (12:50~14:40)

- アクティブ・ラーニングによる授業の質的転換に関する調査研究
- 学校におけるタブレットPCの活用に関する調査研究
- 全国学力・学習状況調査及び香川県学習状況調査の結果分析

講演 (14:50~16:20)

講師：田村 学 先生 文部科学省初等中等教育局 視学官
演題：「未定」 (アクティブ・ラーニングに関する内容)

希望参加の研修もご活用ください



公開講演

基本研修や職務研修等でお招きする著名な講師の講演を、関係研修の受講の有無にかかわらず、希望により聴講することができます。今年はこれまでに、計126名の皆さんが希望で聴講しました。今後も積極的に参加いただき、日頃の実践に生かしてください。

教職・養護教諭・栄養教諭 10年経験者研修 8月6日(木)
 「生徒指導 ー子どもの今を考えるー」
 京都教育大学教職キャリア高度化センター 教授 桶谷 守 先生

大津市教育委員会教育委員長でもある桶谷先生には、いじめが作られていく過程やいじめを発見しにくくなる要因等について話していただきました。

桶谷先生の体験も交えながら、報道されていない事件の背景や経緯を聞くことができ、組織的に対応することの大切さがよく分かりました。



桶谷 守 先生

<参加者の感想>

- 「子どもが関わった事件の背景や経緯を知ることができ、どのように対応するべきかを考えることができた」
- 「無料通信アプリでの実際のやり取りを初めて見て、現代のいじめの構図や恐ろしさを実感した」
- 「教員間でのコミュニケーションやネットワークを築くことで大きな課題にも立ち向かっていけると思った」

初任者研修、新規採用養護教諭・栄養教諭研修 8月21日(金)
 「子どもや親との元気な関係づくり」
 明治大学文学部 教授 諸富 祥彦 先生

諸富先生には、ユーモアを交えた多くの演習を通して、人間関係づくりの考え方や具体的な方法について、分かりやすく紹介していただきました。

受講者は、子どもや保護者、同僚との人間関係の重要性を再認識するとともに、人間関係のプロでなくてはならないとの意識を高めることができました。



諸富 祥彦 先生

<参加者の感想>

- 「不登校の要因やグループ活動の注意点など、今悩んでいることについて、具体的に教えていただいた」
- 「生徒や保護者、教師間の人間関係づくりのプロになることの必要性をとっても感じた」
- 「よりよい人間関係を築くための考え方や技法を体験しながら楽しく学ぶことができた」

所蔵資料等の紹介

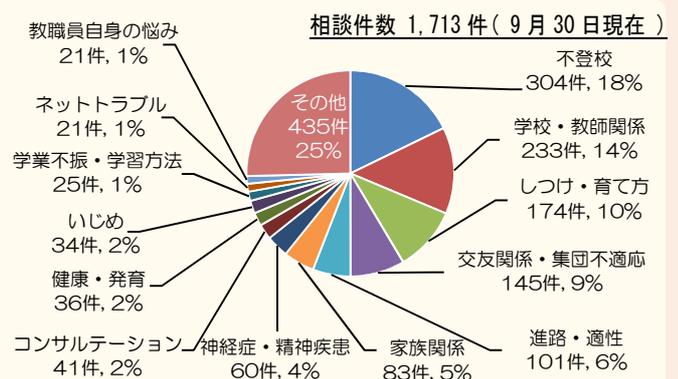
WIND・OW

教育センターの玄関前の向かって右側に彫刻があります。この彫刻は、男木島を拠点として活躍しておられる彫刻家の大島よしふみ氏の「WIND・OW」という作品です。作品名である「WIND・OW」は「WIND（風）」と「WINDOW（窓）」を合わせた言葉です。

平成2年、香川県がん検診センターが開所した際、ロビーのモニュメントとして制作していただいたもので、当センター移転後、大島先生に修繕していただき、引き続き屋外にて展示しています。



平成27年度上半期相談状況



① 不登校に関する相談が増加 (昨年度比約 1.9 倍)

不登校について保護者や教員からの相談が増えました。保護者に対しては面談で家庭での心構えやかかわり方を助言し、子どもに対してはプレイルームでの遊戯療法等を通してストレスの軽減を図っています。また、教員には保護者や子どもの心の状態に合わせたかかわり方を助言しています。

② いじめに関するコンサルテーションが増加

いじめに関する問題の対応について、教員からの相談が増えました。センターのコンサルテーションルームや学校での事例検討会及び校内のいじめ対策委員会において、子ども、保護者、教職員への支援体制づくりを検討、助言しています。

新しい施設を紹介します



教育センターでは、移転の機会に喫緊の課題などに対応できるよう施設設備を整えました。今回は、そのうちのICT研修室と相談待合室及び相談室を紹介します。積極的にご利用ください。

ICT研修室

ICT機器の研修に特化した専用の部屋です。表計算ソフトやプレゼンテーションソフトの研修の他、授業におけるICT機器（電子黒板やタブレットPC、書画カメラ等）の活用に関する研修にも対応できます。ぜひ、研修に参加し、ご活用ください。

<設備の特徴>

- ◇ 42台のデスクトップパソコン
- ◇ 各机に22インチセンターモニター
- ◇ 大型の電子黒板
- ◇ 23台のタブレットPC

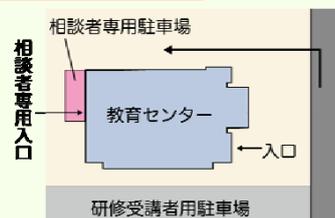


相談待合室と相談室

相談に来られた方には、相談者専用出入口と待合室があり、プライバシーに配慮した対応ができます。遠慮なくご利用くださるよう保護者等に周知ください。

<設備の特徴>

- ◇ 相談待合室と3つの相談室
- ◇ 子ども向けの本やテレビゲームなど<待合室>
- ◇ 箱庭（砂の箱と人形など）<第2相談室>
- ◇ 子どもの発達に合わせた3つのプレイルーム



相談待合室



第2相談室

教育ライブラリーに来てみませんか

教育ライブラリーでは、次の24種の雑誌を定期購入しています。閲覧できる他、最新号を除いて貸出もしていますので、ぜひご活用ください。



国語教育、社会科教育、新しい算数研究、数学教育、理科の教育、英語教育、道徳教育、授業力&学級経営力、生活指導、生徒指導、教職研修、別冊教職研修、児童心理、総合教育技術、初等教育資料、中等教育資料、教育委員会月報、日経パソコン、学校教育相談、実践障害児教育、学校事務、高校教育、道徳と特別活動、学習情報研究

開室スケジュール

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

は休室日

研修室を貸し出します！

教職員の自主的研修や調査研究の場として、研修室を貸し出します。積極的にご利用ください。

- 貸出日 平日及び土曜日
- 貸出時間 9時～16時30分
- 対象施設 一般研修室
- 使用料等 無料（光熱費・空調費含む）
- 貸出機器 スクリーン、プロジェクター
- 駐車場 約250台駐車可

申請方法 電話で予約の上、メール又はFAXで申し込んでください。詳しくはWebサイトをご覧ください。

◆平成28年度に開催する研修会の予約受付について◆

使用日	予約受付開始日
平成28年4月1日（金）～平成29年3月31日（金）	平成28年3月1日（火）

※ただし、平成28年度の県大会規模以上の大会等の仮予約受付は別途相談